酸素と二酸化炭素

酸素と二酸化炭素

Ⅰ．酸素

酸素の特徴をまとめると，次のようになります。

ヒトと酸素	呼吸で体内に(　　)される。
植物と酸素	光合成で体外に(　　)される。
空気の中に入っている割合	約(　　)%
水に溶けるか	溶け(　　)
空気と比べた重さ	少し(　　)
燃える，燃えない	燃えるのを助ける(　　)性である。
作り方	(　　)＋(　　)
集気法	(　　)
石灰水で	(　　)

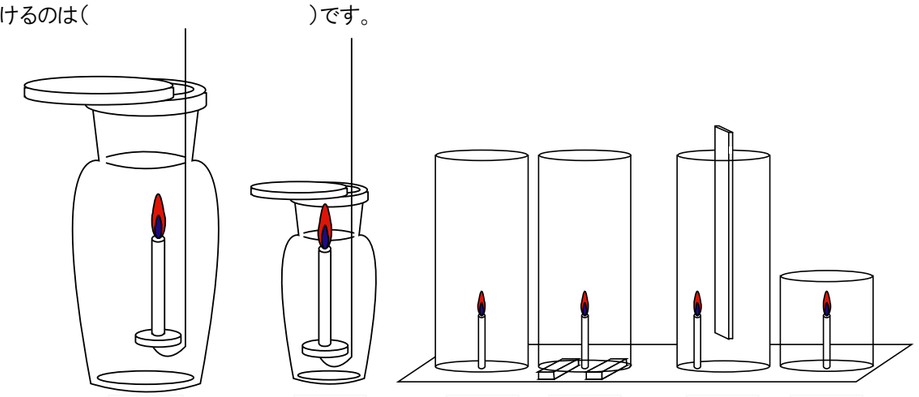
Ⅱ．二酸化炭素

二酸化炭素の特徴をまとめると，次のようになります。

ヒトと二酸化炭素	呼吸で体外に(　　)される。
植物と二酸化炭素	光合成で体内に(　　)される。
空気の中に入っている割合	約(　　)%
水に溶けるか	溶け(　　)
空気と比べた重さ	少し(　　)
燃える，燃えない	燃えない(　　)性である。
作り方	①炭酸カルシウム(　　，　　，　　) ＋(　　) ②(　　)＋(　　)
集気法	(　　)または(　　)
石灰水で	(　　)
強い圧力をかけると…	(　　)になる。
水酸化ナトリウムに…	(　　)される。
熱の吸収	温まりやすい＝(　　)を促す。

空気と燃え方

(ア)と(イ)を比べると，(ア)は(イ)より(　　)燃え，しばらくすると両方とも(　　)ます。(ウ)(エ)(オ)(カ)のうち，燃え続けるのは(　　)です。

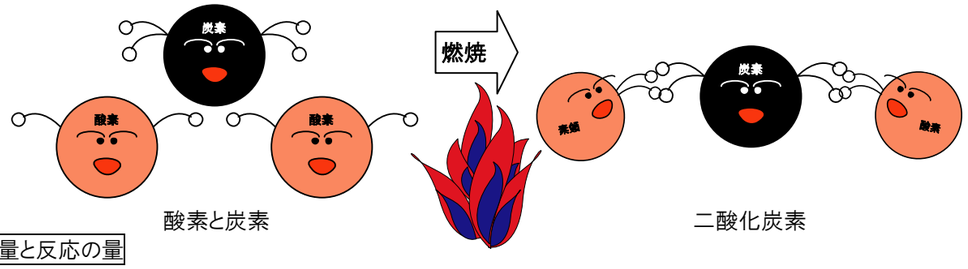


(ア)　(イ)　(ウ)　(エ)　(オ)　(カ)

酸素と二酸化炭素の関係

原子の結びつき

物が燃えることを(　　)といいます。(　　)など，自分自身が爆発するもの以外であれば，一般に燃焼のときには(　　)が必要です。そして，多くの場合で後に(　　)が発生します。これはなぜでしょうか。燃えるものの多くには(　　)が入っています。これは，鉛筆の芯やバーベキューに使う(　　)などをイメージすると良いでしょう。物が燃えるとき，この(　　)1つと(　　)2つが結びつきます。これが(　　)です。名前の通り「二つの酸素と化学反応をした1つの炭素」となります。



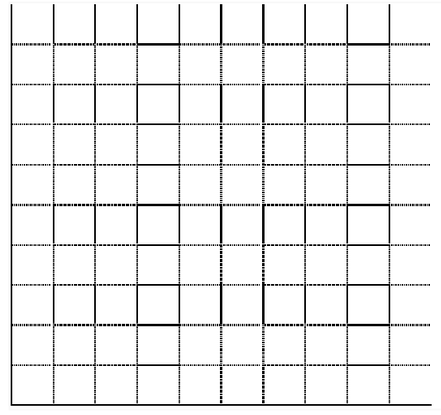
酸素と炭素　　二酸化炭素

薬品の量と反応の量

クエン酸を1g，1.5g，2g，2.5g，3g 用意し，それぞれ水 30ml と洗剤 10ml を混ぜたものにとかします。メスシリンダーに5本に重そう 2g ずつ入れ，二酸化炭素を発泡させます。発泡した量は次のとおりになりました。

実験方法(図)

考察



結果